



2024年12月期 株主通信

2024年1月1日～2024年12月31日



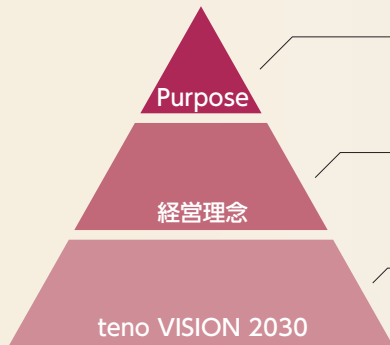
〔証券コード：7037〕

株式会社テノ．ホールディングス

株主のみなさまへ

Purpose 存在意義

(キーメッセージ)
わたし、選んで、生きていく。



「手の」ぬくもりで、安心できる社会を創造する。

私たちは、女性のライフステージを応援します。
私たちは、相手の立場に立って考えます。
私たちは、コンプライアンスを推進します。
私たちは、事業を通して社会貢献致します。

時代に求められるサービスを提供する
プロフェッショナル集団となり、
働き手にとって最も自己実現が可能な
家庭総合サービスグループを目指す。



代表取締役社長 池内 比呂子

トップインタビュー

Q 事業コンセプトと2024年12月期の決算内容についてご説明ください。

●事業コンセプト

当社グループは、“女性”が育児をしても、家事をしても、介護をしてもなお、働き続けるためには、「いったい何が必要なのか」を基本に事業展開してまいりました。豊かな社会を築くためには、あらゆる場面でさまざまな発想で多くの知恵を出すことが必要です。そういった「より私らしく」と願う女性たちに対してサービスを提供することを事業コンセプトとしております。

女性が活躍する事業展開 ～育児・家事・介護をしても働き続けられる事業～



●2024年12月期決算内容

2024年12月期の決算は、増収減益となりました。
売上高は16,017百万円（前期比10.0%増）、営業利益は196百万円（同5.0%増）、経常利益は182百万円（同6.0%減）、親会社株主に帰属する当期純損失は466百万円（前年は100百万円の利益）となりました。



当連結会計年度における報告セグメントについてご説明ください。

2024年12月期における当社グループの報告セグメントは、「保育事業」、「介護事業」、「生活関連支援事業」の3つとなっております。

なお、株式会社ウィッシュが行う児童発達支援、放課後等デイサービスの事業所の運営、ウェルファ株式会社が行う高齢者介護施設の運営については、「介護事業」のセグメントに区分しております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

〈2024年12月末 地域別施設別明細表〉

	保育事業						介護事業	生活関連支援事業	合計
	認可	小規模認可	受託保育所	学童保育所	わいわい	その他			
首都圏	35	4	5				1	23	68
九州	3	10	110	54	33	6	3	2	221
関西東海	9	5	12	8		1	12	19	66
その他							2	11	13
合計	66		222			7	18	55	368

保育事業

売上高 12,204百万円 (前期比 6.8%▲)

セグメント利益 833百万円 (前期比 20.1%▲)

保育事業におきましては、当連結会計年度において新規に開設した施設が15施設あり、各施設において、保育の質の向上及び効率的な施設運営に注力いたしました。

また、収入面では、今年度の公定価格が改定(前年度比+5.2%)されたことが増収に寄与した他、バイリンガル幼児園1施設の新規開設及び事業所内10施設、学童4施設の新規の受託獲得によって増収となりました。費用面では、バイリンガル幼児園の新規開設にかかる広告費等の初期費用が発生した他、既存施設では労務費と経費が増加しましたが、認可保育所の増益幅が減益要因を上回ったことにより増益となりました。

生活関連支援事業

売上高 2,440百万円 (前期比 11.6%▲)

セグメント損失 88百万円 (前年は56百万円の損失)

生活関連支援事業におきましては、セーフティージャパン・リスクマネジメント株式会社の業績が通期に寄与したことにより増収となりました。一方で、株式会社ホームメイドクッキングにおいては、集客向上のためのキャンペーンを定期実施する等の施策に取り組みましたが、教室受講者が前年に比べて減少し減益となりました。

介護事業

売上高 1,136百万円 (前期比 59.6%▲)

セグメント損失 62百万円 (前年は49百万円の利益)

介護事業におきましては、当連結会計年度において株式会社フォルテが実行した子会社化及び事業譲受した会社の経営成績が反映されたことにより増収となりました。一方で、子会社化及び事業譲受に係る取得関連費用に加え、新規開設(住宅型有料老人ホーム「ほつぺるの家さいたま見沼(さいたま市)」)による初期費用が発生したことにより減益となりました。

その他

売上高 236百万円 (前期比 2.0%▲)

セグメント利益 4百万円 (前期比 137.0%▲)

その他におきましては、主に幼稚園や保育所等に対する保育人材の派遣及びテノスクールにおける自治体主催の研修事業獲得に注力いたしました。また、管理部門において経費削減を実施しました。

※セグメント別の業績は、セグメント間取引の相殺前の数値です。



2025年12月期の業績予想と配当予想のご説明をお願いします。

●業績予想

2025年12月期は増収増益予想です。売上高は17,800百万円（前期比11.1%増）、事業投資の内容については、右のページにて記載しております。営業利益は440百万円（同123.4%増）、経常利益は400百万円（同118.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は150百万円（前期は466百万円の損失）を見込んでいます。

〈増収・増益予想〉

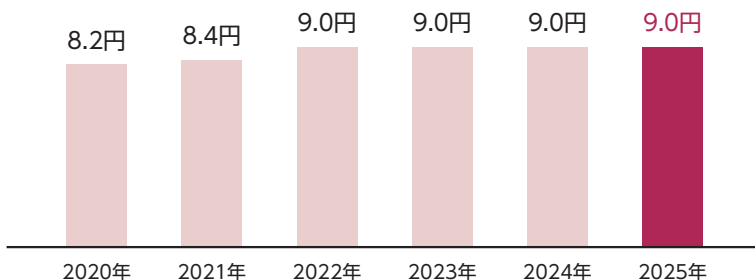
(単位：百万円)	2024年 12月期実績	2025年 12月期予想	増減率	増減額	2025年12月期の 事業投資
売上高	16,017	17,800	+11.1%	+1,782	・バイリンガル幼稚園KDI アイランドシティ福岡の 運営（開園2年目）
営業利益	196	440	+123.4%	+243	・介護事業（高齢者介 護、療育）の拡大
経常利益	182	400	+118.7%	+217	
親会社株主に帰属 する当期純利益	△466	150	-	+616	・M&Aによる事業拡大

●配当予想

配当金は2024年12月期の9.0円と同じく2025年12月期も1株当たり9.0円を予定しております。

当社は、将来の事業展開と財務体質強化のため必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

〈2025年12月期 配当金予想〉



●SDGsへの取り組み

当社グループはSDGsの課題解決を重要な経営課題として捉え、ジェンダーに関係なく、個人のライフステージに合わせて働き続けられる社会の実現を目指し、国際社会が追求する社会課題の解決に貢献することで企業価値の向上と持続的な社会の実現に取り組みます。

テノ・グループは「ジェンダー平等」にコミットします

公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。

政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。

テノ・グループの貢献	設定する指標 (KPI)	現状	数値目標
従業員の男女隔てなく世帯・家族内における責任を担える環境を作ることで、家事労働を支援します。	男女別育児休暇取得率	2024年 男性 100.0% 女性 100.0%	2025年 男性 60.0% 女性 100.0%

テノ・グループの貢献	設定する指標 (KPI)	現状	数値目標
女性のリーダーシップの発揮の機会が担保され、女性目線でのサービス創出が強みになる社風を確立します。	管理職に占める女性の割合 ※()内は現場含む数値	2024年 32.1% (83.2%)	2030年 50.0% (87.5%)



2024年12月期の成長に向けた事業投資の結果についてご説明ください。

2024年12月期の事業投資の進捗は以下のとおりです。

バイリンガル幼稚園 KDI福岡アイランドシティが開園

2024年4月1日にKDI福岡アイランドシティを開園しました。
年度途中の入園者も含めて園児数は120名となりました。(12月末時点)

KDI (Kids Duo International) は英語・知育・運動を軸にした「生きた知識の習得」と社会性・コミュニケーション能力といった「ライフスキルの習得」により、将来を築く土台を育てるバイリンガル幼稚園です。

国際化が進む福岡に住む子どもたちや、海外にルーツがある子どもたちが将来活躍できるように、質の高い教育を提供することで地域の力になりたいと考えております。地域の皆様の期待にお応えできるように努めてまいります。

KDI福岡アイランドシティでは2025年度の園児募集中でございます。

営業利益影響額
計画 ▲150M
実績 ▲142M



KDI福岡HP

株式会社ウィッシュの株式取得

株式会社ウィッシュの子会社化及びウィッシュの100%持株会社である、株式会社子育てサポートを孫会社化いたしました。

営業利益影響額
計画 ▲50M
実績 ▲28M
(のれん償却費を含む)



BOWブランドで展開

【事業内容】

ウィッシュ：児童発達支援、放課後等デイサービス等の事業所の運営
子育てサポート：児童発達支援、放課後等デイサービス等のフランチャイズ事業

- ・東海地方で6施設の事業所を運営
- ・フランチャイズ事業の加盟数は27社（42施設）



株式会社ウィッシュHP

住宅型有料老人ホーム「ほっぺるの家さいたま見沼」の開設

2024年8月1日に住宅型有料老人ホーム「ほっぺるの家さいたま見沼」が新規開設いたしました。



営業利益影響額
計画 ▲50M
実績 ▲64M

【基本情報】

開設日：2024年8月1日

所在地：埼玉県さいたま市見沼区堀崎町551-1

室数：54室

最寄り駅：東武野田線 七里駅から徒歩で15分

東武野田線 大和田駅から徒歩で15分



ほっぺるの家HP



Q tenoのPurposeと長期ビジョンについてご説明ください。

「わたし、選んで、生きていく。」をキーメッセージに、女性が育児・家事・介護をしても働き続けるためには、たくさん選択肢が必要だと思っています。そのような意味で、私たちはがんばっている女性たちを私たちの「手の」ぬくもりで支えていきたいと考えており、それが会社の存在意義、Purposeだと思っています。

また、当社のPurposeについて、以下のリンクもご参照いただけますと幸いです。

<https://youtu.be/2DTmnbxt9cM>



[teno VISION 2030]

時代に求められるサービスを提供するプロフェッショナル集団となり、働き手にとって最も自己実現が可能な家庭総合サービスグループを目指す。

働き手視点

- >適切な運営で、心に余裕をもって勤務可能
- >グループ全体の収益が高いため、処遇は他社よりも高く設定されている
- >客観的な評価体系、しっかりした人事制度が構築されており、やりがいを感じる
- >人材育成体系が整っており、自己研鑽できる
- >グループ内の職種・働き方が多様で、自身の現状に合った働き方が選択できる

ビジョンの実現により、
選ばれる企業集団へ

顧客・クライアント視点

- >便利で安心、行き届いた質の高いサービス
- >時代のニーズに合った付加価値の提供
- >テノ、グループのビジョンに共感でき、圧倒的な親近感があり、信頼できる組織
- >極めて透明な情報開示と財務の健全性
- >対価に対するサービスレベルが適切である
- >個々の組織やチームの運営がうまくまわっていることが、外部からもみてとれる

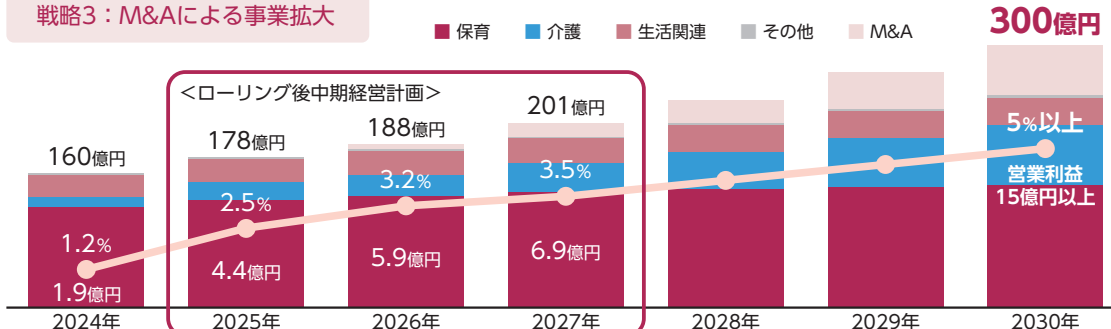
事業拡大戦略

- 戦略1：保育関連事業の拡大
- 戦略2：介護事業の拡大
- 戦略3：M&Aによる事業拡大

<最終年度（2030年）の売上高を修正、利益目標を設定>

	変更前	変更後
売上高	500億円	300億円
営業利益率	(新規設定)	5%以上

■ 保育 ■ 介護 ■ 生活関連 ■ その他 ■ M&A



最終年度
営業利益率
5%以上

M&A将来計画
25~30年
50億円規模



2024年の主要なトピックスをご説明ください。

目的 介護事業の拡大

2024年
4月

フォルテによるウェルファ株式会社の株式取得

ふる郷

【事業内容】
特定施設入居者生活介護老人ホーム
「ふる郷」の運営

特定施設入居者生活介護老人ホームについて

介護保険法第8条第11項に基づき、特定施設に入居している要介護者を対象として行われる、日常生活上の世話、機能訓練、療養上の世話をを行い、介護保険の対象となる特定施設入居者生活介護を提供することができる老人ホームです。

営業利益影響額
実績 ▲1M
(のれん償却費を含む)



ふる郷HP

2024年
5月

フォルテによる株式会社翠明の介護事業の譲受

フォルテ
株式会社

【事業内容】
サービス付き高齢者向け住宅
「シニアレジデンス メゾン・ド・高松」の運営
デイサービス「ユートリア」の運営

特徴：生活環境良好な立地、デイサービス併設、施設内厨房にて食事提供
特色：ペット可の部屋あり、敷地内での家庭菜園、家具家電付きの居室、看取り実績あり

営業利益影響額
実績 ▲19M
(のれん償却費を含む)



施設情報

2024年
10月

ウィッシュによる株式会社Yellow Finの株式取得

Child group

【事業内容】
児童発達支援、放課後等デイサービス等の
事業所の運営
運営施設数：3施設（1施設休業中）

連結子会社であるウィッシュが株式会社Yellow Finの株式を2024年10月1日付で取得し、子会社化（当社の孫会社化）いたしました。

営業利益影響額
実績 +1M
(のれんの発生は無し)



最後に株主のみなさまへ一言お願いします。

2024年12月期は、成長のに向けた積極的な事業投資を行いました。また、今年2月には「teno VISION 2030」の数値目標の見直しを行い、新たに3カ年分の営業利益及び営業利益率を公表しております。

当社は、今後もパーパスを基に社会貢献と収益の両輪で企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要

商号 株式会社テノ・ホールディングス
資本金 455百万円
所在地 〒812-0036
福岡県福岡市博多区
上呉服町10番10号
呉服町ビジネスセンター5F
主な事業内容 子会社の経営指導

役員

代表取締役社長 池内 比呂子
取締役 岡田 基司
取締役(社外) 渡辺 顕好
取締役(社外) 柳瀬 隆志
監査役(常勤) 小田 隆史
監査役(社外) 古賀 光雄
監査役(社外) 宮野 祐輔

連結貸借対照表 (要約)

(単位:百万円)

科目	2023年12月期	2024年12月期
	2023年12月31日	2024年12月31日
流動資産	4,094	4,438
固定資産	5,432	5,303
資産合計	9,527	9,742
流動負債	4,136	4,947
固定負債	3,148	3,059
純資産	2,242	1,735
負債・純資産合計	9,527	9,742

連結損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

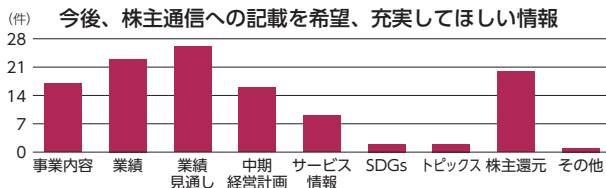
科目	2023年12月期	2024年12月期
	2023年1月1日から 2023年12月31日まで	2024年1月1日から 2024年12月31日まで
売上高	14,557	16,017
営業利益	187	196
経常利益	194	182
親会社株主に帰属する当期純利益または 親会社株主に帰属する当期純損失 (▲)	100	▲466

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	2023年12月期	2024年12月期
	2023年1月1日から 2023年12月31日まで	2024年1月1日から 2024年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	324	691
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲367	▲916
(フリー・キャッシュ・フロー)	▲42	▲225
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲208	458
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	▲250	233
現金及び現金同等物の期首残高	2,113	1,862
現金及び現金同等物の期末残高	1,862	2,095

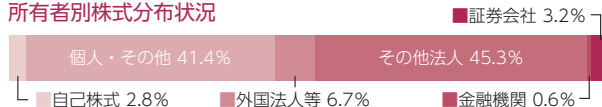
2024年12月期中間株主通信にて実施いたしました、株主アンケートにおいて今後の株主通信へ掲載を希望される内容について、以下の回答をいただきました。本株主通信では、業績及び業績見通しの項目の記載を充実させることといたしました。



株式の状況 (2024年12月31日現在)

発行可能株式総数 13,320,000株
発行済株式の総数 4,701,300株
株主数 2,494名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
期末配当金 毎年12月31日
株主確定日 (中間配当をする場合は6月30日)
単元株式数 100株
公告方法 電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法により行う。
公告掲載URL <https://www.teno.co.jp/>
上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
福岡証券取引所 本則市場
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
お問い合わせ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
tel: 0120-288-324 (フリーダイヤル)
受付時間 平日9:00~17:00
詳しくは、下記のページにてご確認ください。
<https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

株主の皆さまの声を聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 7037PAe7



スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り
の登録可能です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を呈進させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
<https://www.pronexus.co.jp/>

アンケートのお問い合わせ
「コエキク事務局」
koekiku@pronexus.co.jp